

# 病院機能評価訪問審査を受審しました

当院では、2002年より、(財)日本医療機能評価機構が行う「病院医療機能評価」を受審しています。

本年度は3回目の更新年となり、書類と訪問による審査を受けました。

「病院医療機能評価」とは、各病院が適切な医療体制を維持しているかについて、公的な第三者機関に客観的に評価してもらうものです。当院では2002年に受審、認定され、2007年、2012年と更新審査にも合格。今回の更新年を迎えました。

訪問審査は2月20日、21日の二日間。機構より3名のサーベイヤー(審査官)が当院に来院され、書類確認や面接、院内各部署の訪問など、各種審査が行われました。

前回までは書類確認を中心とした審査でしたが、今回は「ケアプロセス審査」という、実際の医療現場での、医療行為やサービスの流れを中心に審査する方式です。

小松尚也院長以下職員が一丸となって、前日まで受審に向けた準備や取り組みを行い、審査当日を迎えました。サーベイヤーからはいくつか課題となる指摘を受けたものの、再更新に向け高い評価をいただきました。



～ 最善の行動と信頼 ～

## 医療法人 同 和 会 千 葉 病 院

### 【病院概要】

- 診 療 科  
精神科・神経科・歯科(要予約)
- 院 長  
小松 尚也
- 外 来 診 療 時 間  
平 日 9:00～12:30 (月曜日のみ 9:30～12:30)  
土 曜 日 9:00～12:30 (午後は予約制)
- 休 診 日  
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日(創立記念日)
- 所 在 地  
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508  
TEL: 047-466-2176 FAX: 047-466-7503  
ホームページ: <http://www.chiba-hp.on.arena.ne.jp>
- 千葉県認知症疾患医療センター  
TEL: 047-496-2255 FAX: 047-496-2256



### 千葉病院 患者様の権利

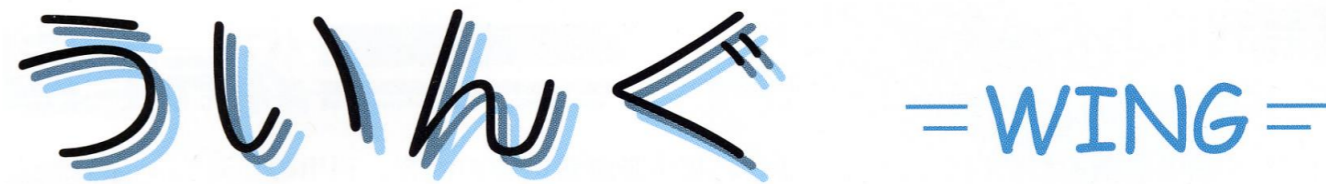
- ①個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
- ②安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
- ③職員のかいなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
- ④精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
- ⑤職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
- ⑥個人情報保護されます。

発行: 医療法人同和会 千葉病院  
発行日: 平成29年3月15日  
住 所: 千葉県船橋市飯山満町2-508  
TEL 047-466-2176 Fax 047-466-7503  
URL: <http://www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/>

### 編集後記

この2月に、当院は2つの公的な監査を受けました。一つが「関東信越厚生局」の適時調査で、もう一つが、上記に挙げた「医療機能評価機構」の更新審査です。前者は医療機関の診療報酬請求が適正かどうかを審査するもので、後者は医療サービスが適切か否かを審査するもの。幸いにして、双方とも特に大きな指摘なく認定されたことを報告いたします。

ここは千葉病院の活動を紹介するコーナーです



千葉病院広報紙 2017.春号(第56号) 発行者 医療法人同和会 千葉病院

# 千葉病院行事のご紹介

当院では、年間を通じてさまざまなイベントを開催しています。主に入院・外来患者さんのためのレクリエーションを目的としたものですが、中でも、初夏の「あおぞら祭り」と、8月の「盆踊り」は、地域の人々にも多くのご参加をいただき、病院の駐車場や院庭を開放して、さまざまな模擬店や、太鼓やダンス、ソーラン節演舞などの催し物を企画しております。今年も、多数の皆様のご来場・ご参加をお待ちしております。

※行事の年月日は予定です。あおぞら祭り、盆踊りにつきましては、次号以降改めてご案内します。

2017年3月11日 音楽祭

「音楽のある病院」を掲げる当院を代表する春のイベント。吹奏楽やピアノ弾き語りなどが行われます。

## 6月10日 あおぞら祭り



初夏の晴天のもと、青々とした芝生の上で、ダンスや楽器演奏、太鼓演奏などが行われます。

## 8月2日 盆踊り



かき氷や焼きそばなどの模擬店や太鼓の演奏、そしてもちろん盆踊りの輪も。ちょっと早い納涼気分をご一緒にどうぞ!

10月14日 芸術鑑賞会

患者さんに「芸術の秋」に親しんでいただくため、昨年よりはじまりました。昨年は落語とダンス鑑賞でした。

患者さんたちが病棟やデイケア、OTなどグループごとに出し物を発表。医局の先生方も参加します。

12月13日 クリスマス会

千葉病院Drによる医療コラム 第25回

# 認知症疾患医療センター

外来看護師 伊藤恵子

平成26年10月より、同和会千葉病院に、認知症疾患医療センターが併設されました。「認知症疾患医療センター」とは、地域における認知症の専門医療機関として、早期発見、診断・治療、またかかりつけ医や介護施設との連携の中心となる施設のことです。千葉県内では医療圏域ごとに開設されており、千葉病院は、心一会八千代病院(八千代市)とともに、東葛南部地区(船橋市・八千代市・市川市など)の認知症疾患医療センターとして開設・運営しております。連載第3回目は、主に外来受診の流れについて、外来担当の伊藤看護師が執筆いたしました。

千葉病院内に認知症疾患センターが併設され、この平成29年3月でおかげさまで2年半を迎える事が出来ました。

実績として、毎月約20～25名、計500名を超える患者様の受診がありました。これもひとえに多忙の中、外来診療をされるセンター長をはじめとする精神科医の先生方の協力と、それを支える精神保健福祉士や放射線技師(MRI撮影に理解頂いております)と我々外来看護師との連携によるチームプレイの賜物であると考えております。

認知症センターの電話相談業務は、まず精神保健福祉士が日替りで行っております。

詳しく聞かせていただいた電話相談の結果、外来看護師が受診日と時間を決定させていただいております。現在外来は看護師4名と事務スタッフ1名が勤務をしております。

我々外来スタッフの役目としては、不安な気持ちで来院された方が安心して診察が受けられるように窓口でお迎えし、診察がスムーズに進むように検査や処置や誘導などを行っております。

受診のニーズは多岐にわたり、本人や家族構成が異なるため、同じ相談はございません。下記に受診に至るケースを簡単に説明させていただきます。

- ①認知症の症状が進行したため、1日も早い受診を希望される方。  
この場合はご家族の方の希望が多いようです。
- ②軽い物忘れが目立つようになり、ご本人、もしくはご家族が希望される方。
- ③夫もしくは妻の受診が必要になり、対象のご本人が受診しやすいようにご夫婦で受診される方。
- ④認知症ではないが、今後のために今の段階で受診をしておきたい、等。

診察の結果、診断がつき定期的な受診が必要となった方や脳の疾患が見つかり脳外科の受診が必要になった方もいらっしゃいました。また、年齢相応で定期的な受診の必要性がなく、1年後に来院をとご案内した方など、結果も様々でした。

余談ですが、筆者である看護師の母も「物忘れ」で困っていたため、センター長の外来を受診し、「年齢相応」との診断で、今も年に1回の検診としての再診をしております。「まだ受診はしなくても」とお考えでも、ご本人やご家族、知人の方でも些細な事でも心配事があるようでしたら、お気軽にお電話や来院相談をいただければと考えております。

ただ、現在問い合わせが多く、予約が先になってしまう事も考えられますので、お問い合わせいただく際にはその点をご了承いただくと幸いです。

## 注意すべき精神科患者さんの身体疾患兆候 その2

千葉病院医師 小暮 正信

精神科患者さんの中には、精神症状のために不調を訴えることが苦手あるいはできない方、または普段から心気症状が中心で多訴的な方等があり、そのような場合はその背景に存在するかもしれない身体疾患を見逃してしまう危険性が高まります。

そのため、比較的出現頻度の高い身体疾患をここで再確認しておきましょう。これらの兆候を知っておくことは、医師や看護師のみならず、OTやPSW、病院事務職、そして患者さんのご家族など、患者さんと接する機会のある全ての方において意味のあることと思われまます。

### ③QT時間延長症候群

＜心筋のイオンチャンネル障害⇒活動電位の持続時間延長⇒時に致死性不整脈＞

【めまいや眼前暗黒感、失神を認める！ 定型抗精神病薬や三環系抗うつ薬を内服している！】

心電図でQTc延長やTdP

低カリウム血症、徐脈、女性はリスク因子か？

### ④誤嚥性肺炎

＜過鎮静、意識障害、認知機能低下等⇒嚥下・咳そう反射低下 あるいは精神症状由来の早食い⇒誤嚥＞

【発熱や湿性咳そうが目立つ！ 最近向精神薬が増えた、認知機能が落ちてきた、早食いがある！】

血液検査で炎症反応上昇、SpO2低下、胸部レントゲン・CTで肺炎像がみられる。

解剖学的には、右肺下葉に生じやすい。

65歳以上の高齢者では抗精神病薬によりリスクが約60%上昇、特に抗精神病薬投与初期に注意する。

### ⑤麻痺性イレウス

＜向精神薬の抗コリン作用、活動低下、刺激性下剤多用、咀嚼運動低下、排便習慣不良⇒腸管運動低下＞

【腹痛、排ガスや排便の停止、腹部膨満、腸ぜん動音低下などがある！！】

腹部レントゲン・CTスキャンで腸管の拡張、ニボー像がみられる。

抗精神病薬の制吐作用により悪心、嘔吐がないことも。

リスク因子はイレウスの既往、精神科的重症度、刺激性下剤の多用などである。

## 新しい院内美容が始まりました

前号でお知らせしたように、今年度から、新しい院内美容が始まりました。

昨年までのボランティア活動「美容奉仕の会」に替わって、今年からは有料の「東京理美容企画」が、毎月第1金曜日に、院内美容活動を行います。

すでに、3月3日に第1回の院内美容が行われ、申し込まれた入院患者様からは御好評をいただきました。

このたび、平成29年3月3日、開店いたしました。

ヘアカット・パーマ・ヘアカラーなど美容スタッフが皆様のご希望に添い、笑顔が頂けたら幸いです。

オシャレなひとときが皆様の日々の生活の一部になりますよう、努力してまいります。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



写真上：当院4階予備室を使い、3人の美容師さんによる活動が行われました。  
写真右：代表の村上春美さん。持っているのはカラーリングの一覧です。



